



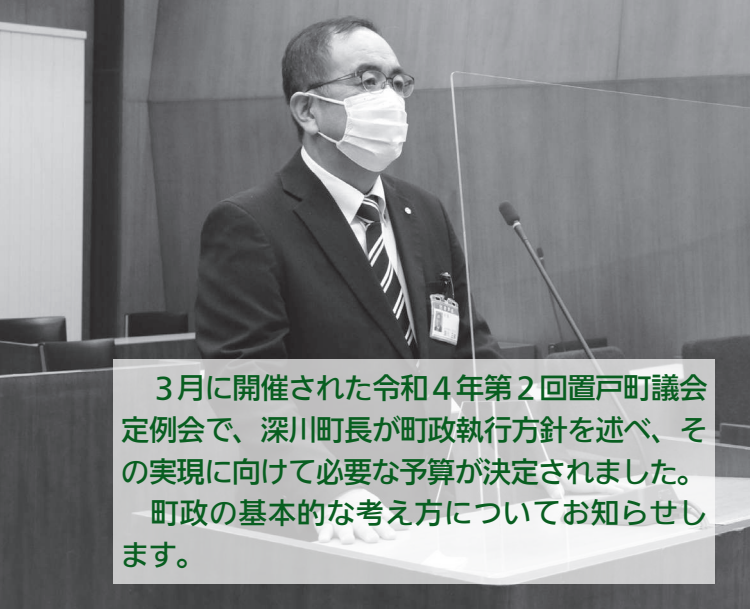
広報おけと KETO

2022 **3**

コロナで
環境が変わったこと
体育大会で
最後に優勝したこと
国家試験に向けて
猛勉強したこと
どんなに辛くても
諦めないでよくやった
諦めなければいつかはよくなる
その経験が自分を強くする
たくさん笑って泣いて
楽しかったね
3年間
あっという間だったけど
このクラスでよかった
みんな大好きありがとう！
また会おうね

祝
卒
業





3月に開催された令和4年第2回置戸町議会議定例会で、深川町長が町政執行方針を述べ、その実現に向けて必要な予算が決定されました。
町政の基本的な考え方についてお知らせします。

令和4年度 町政執行方針 (要旨)

令和2年度からの高度無線環境整備推進事業により、長年の懸案事項でありました未整備地域における光ファイバの整備が進み、本年2月から町内全域においてサービス提供が始まりました。今後、ICTインフラ整備が進められるとともに、あらゆる分野における利活用が期待されます。

昨年10月から、ふるさと納税返礼品を導入し、今日まで全国の方々から1,300万円を超えるご寄附をお寄せいただいております。今後も、返礼品の内容を充実させて、より多くの方々に応援していただけるよう取り組んでまいります。

一昨年に発生した新型コロナウイルス感染症は、様々な感染症予防対策が講じられている現在においても、変異しながら、依然として世界各国で猛威をふるっており、我が国においても、本年1月から各地で感染者数が激増するなど、人々の生活や経済に大きく影響を及ぼす状況が続いております。

昨年10月に行われた衆議院議員総選挙において第2次岸田内閣が発足し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が追加計上されるな

ど、大型の対策予算が組まれました。

本町においても、町内経済活性化対策や置戸赤十字病院との連携による3回目の新型コロナウイルスワクチン接種を実施しておりますが、引き続き、交付金を活用した切れ目ない感染症予防対策を進めてまいります。

昨年から高騰する燃料価格の影響から、資材費や物件費、維持管理経費も上昇しているなど、依然として厳しい財政状況ではありますが、令和4年度予算編成にあたっては、国や道の政策動向を見極めながら、限られた財源のなかで優先度の高い事業を選択し、取り組むことといたしました。

依然として新型コロナウイルス感染症が収まる気配もない状況で、厳しい町政運営が続くであろうと思います。町職員が一丸となって、スピード感を持ちながら課題解決に向け、全力で取り組んでまいります。

町民と行政がひとつになり、「まちづくりは、人づくり」を基本理念とした町政をしっかりと推し進めてまいりますので、町議会議員と町民の皆さんの深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

健康で安心に暮らせるまちづくり

〇高齢者保健福祉・地域医療

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画は、第8期の2年目を迎えます。住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域共生社会の実現に向けて、サービス基盤の整備に努めていくとともに、災害や感染症が発生した場合でも必要なサービスが提供できるよう、日頃から事業所と連携し、情報共有を図りながら実施体制整備に努めます。

地域密着型サービスとして運営されている通所介護事業所や認知症対応型共同生活介護施設に対し、運営費の補助を行うとともに、利用者の負担軽減を図り、サービスの利用促進と安定的な運営への支援を行います。

地域医療の充実のため、置戸赤十字病院及び歯科診療所に対して継続的に支援します。

○地域支援事業

地域包括支援センターを軸として、支え合い活動などの推進や集いの場における介護予防活動の充実に努めます。また、複雑な問題を抱える方への相談対応などの支援を行います。

○認知症施策

認知症サポーター養成講座による知識の普及や「りんぐ☆おけと」などの事業を通じて、認知症の方やその家族の支援を行います。

○介護サービス事業

要支援者や要介護者に対する各種サービスが状況に応じて適切に提供されるよう努めます。

○養護老人ホーム・特別養護老人ホーム

これまで施設運営と管理をされてきた社会福祉協議会と、本年より10年間の新たな指定管理協定を締結します。引き続き、利用者に対するサービスの質の向上と安定した運営が図られるよう支援を継続するとともに、人材確保や、より効率的な運営を目指して協議を進めます。

施設整備については、夏期の高湿時における両施設利用者の健康維持のため、空調設備の整備と養護老人ホームの老朽化した非常階段などの改修を実施します。将来を見据えた施設の整備については、受託者並びに関係機関と十分検討をして計画を策定します。

○子育て支援事業

第2期子ども・子育て支援事業計画に基づき、町全体で子育て家庭を見守り、応援し、支えるまちづくりを推進するとともに、保育環境の充実を図るため、認定こども園こどもセンターどんぐりの保育料及び副食費の無償化を継続します。

平成22年度から実施していました健やか子育て応援事業は、本年8月から18歳までの子どもの医療費を自己負担無しとする医療費助成制度の拡大に伴い、制度移行することから7月末をもって終了します。

○母子保健事業

妊産婦が専門医療機関に受診するための通院費助成、妊産婦健康診査事業及び産後ケア事業を継続し、支援の充実を図ります。

○障がい者福祉

心身障がい者が必要な治療や訓練などを受けるための通院・通所費に加え、本年度より新たに特別支援学校への通学費も助成対象とします。

放課後等デイサービス利用者に対しての利用促進事業を継続し、経済的・身体的な負担軽減を図ります。

○健康づくりと保健事業

第2期健康増進計画に基づき、乳幼児から高齢者までの健康づくりと疾病予防対策として各種健診や予防接種、訪問活動などに取り組みます。

子宮頸がんワクチンの積極的な接種勧奨を再開し、勧奨を差し控えていた期間に接種を受けられなかった方にも対象範囲を拡大して実施します。

生活習慣病の予防と疾病の早期発見を促進するため、特定健康診査とがん検診の受診率の向上を図るとともに、生活習慣病に着目した生活指導や特定保健指導を推進します。



乳幼児の健康相談（昨年5月開催ひよこクラブ）

○歯・口腔の健康づくり

生涯にわたって健康な歯を保つため、幼児期からのブラッシング指導を基本とし、虫歯予防に効果的なフッ素・サホライド塗布及びフッ化物洗口を実施します。歯周病の早期発見のため歯周病検診を実施します。

にぎわいと活気あふれる産業のまちづくり

○農業・畜産関係

道営事業は、引き続き農地中間管理機構関連農地整備事業により、拓実北・南地区で区画整理を行います。農道整備は、幸岡雄勝線の修繕を行います。

団体営事業は、農業水路等長寿命化・防災減災事業により常盤地区営農用水施設の整備に向けて揚水機場の機器改修を行います。

畜産関係は、公社営による草地畜産基盤整備事業により、きたみらい第2地区で草地整備改良を行います。

多面的機能支払事業は、農業用資源や農村環境を守りながら持続的な営農を目標に、農地の維持や資源の長寿命化などに努め、農業関連施設の保全に向けて取り組みます。

○林業関係

森林環境譲与税を活用した町独自事業を推進していくため、森林経営管理委員会で協議しながら計画的な森林整備の推進や木材利用の促進、担い手の育成と確保、普及啓発などに努めます。

林業を支える基盤の整備を図るため、新規担い手の育成や確保、林業従事者の通年雇用に向けた支援を進めます。

森林環境譲与税を活用し、林業事業体の機械設備の近代化を図るための高性能林業機械の導入や木材加工施設などの整備に向けた新たな補助制度を創設し、利用促進に努めます。

町有林は、各種補助制度を有効活用し、間伐、造林事業及び立木販売など、計画的な森林整備を推進します。

私有林は、豊かな森づくり推進事業に対する積極的な支援を進めるとともに、森林環境譲与税活用事業として森林吸収源対策事業を創設し、除間伐の促進を図ります。

○商工業関係

新たな起業参入はあるものの商店街に空き店舗も目立つようになってきたことから、各種補助制度の有効活用を図り、起業を促進します。



昨年導入したラポラカード事業への支援を継続し、商店街の活性化を推進します。

ラポラカード

○観光関係

おけと勝山温泉ゆうゆは、温泉利用促進事業補助制度による入浴料割引を引き続き実施します。

昨年設置したトレーラーハウスは、コテージとあわせて各種宿泊助成制度により順調な利用がありました。アフターコロナを見据え、勝山農村公園内のトイレ改修工事とRVパークの整備、おけと勝山温泉ゆうゆを含めたエリア全体のWi-Fi環境を整備することで、より多くの方々に訪れていただけるよう支援します。



新しい宿泊施設として誕生したトレーラーハウス

○オケクラフト関係

一般社団法人おけと森林文化振興協会が、オケクラフトのさらなる振興発展に向けた販売や商品開発に取り組めるように、引き続き、協会運営への支援や作り手との連携を図ります。

オケクラフト作り手養成塾は、年度当初に限らず、いつの時期からでも受け入れられる随時募集を始めました。教育委員会と連携しながら、生産の維持と拡大、産業としての確立を図るため、全国に向けて広く周知を図り、新たな作り手の確保と育成に努めます。

ふるさとへの愛着と誇りを育むまちづくり

本町の子どもたちが、持続可能な社会の創り手に成長するとともに、町民一人ひとりが生涯学び続けられる教育施設の充実と幅広い学習機会を提供できる環境づくりを教育委員会と連携し、重点的に取り組みます。

小学校では、校舎の屋根改修工事と体育館舞台吊物装置の取替工事を実施します。

中学校では、体育館バレーボール支柱の基礎修繕工事を実施します。

学校給食では、「ふるさと給食の日」と題し、年6回地元食材にこだわったメニューを提供します。また、学校給食センターのプレハブ冷蔵庫更新工事を実施します。

公民館施設では、秋田地区住民センターの屋根

改修工事と旧勝山寿の家の解体工事を実施します。

体育施設では、水泳プール配管改修工事を実施します。



置戸小学校給食風景(令和2年11月撮影)

快適で安全な暮らしを支えるまちづくり

○防災関係

避難所として使用する秋田地区住民センターの停電時電源切替設備工事を実施します。

○消防関係

耐用年数を迎えた水槽付消防ポンプ自動車の更新と、現有消防車両に設置している車両運用端末装置を更新します。

消防団員の火災現場での活動強化のため、男性団員用防火衣を更新します。



更新予定の現有消防車両

○道路、橋梁修繕・建設機械購入事業

町道置戸川南境野線の舗装修繕工事を継続します。橋梁長寿命化計画に基づき、日の出橋の修繕工事を実施します。

災害時のインフラ確保や維持の効率化を図るため、老朽化したパワーショベルを更新します。

○簡易水道事業

昨年度に引き続き、秋田浄水場の計装機器設備の更新と境野高台地域の水道管取替工事を実施します。

○下水道事業

今後必要となる置戸浄化センターの機器の更新を見据えて、ストックマネジメント計画を策定します。

○町営住宅の整備

公営住宅等長寿命化計画に基づき、引き続き、新光団地の残り7棟14戸の外壁と屋根の大規模改修を実施します。

○広報関係

これまで毎月1日と20日に発行していましたが、本年4月から毎月1日発行に変更します。

新たな情報発信手段として、ご家庭のテレビで町の情報がご覧いただける地デジ広報サービスの利用を開始します。

ユーチューブやSNSなどの充実を図り、多くの町内外の方に対しての情報発信に努めます。

未来に向けた持続可能なまちづくり

○防犯対策

コミュニティホールぽっぽ西側駐車場に、防犯対策として照明設備を設置します。

○移住・定住関係

移住・定住の促進を図るため、テレビ局とタイアップし、一年を通じて町の魅力を町内外に発信するプロモーション事業を実施します。

○地域交通関係

地域巡回バスの利用促進と利便性の向上を図るため、運行回数やコース、ダイヤの改正を行います。

唯一の公共交通機関である北見バスの利用促進策について、事業者並びに関係機関と検討を進めます。



地域巡回バス（にこにこ号）

○地域おこし協力隊関係

現在活動中の4名に加え、本年4月から新たに4名の隊員の採用を予定しています。引き続き、活動意欲のある隊員の採用を幅広い分野で進め、地域の活性化に取り組みます。

令和4年度 置戸町各会計予算

一般会計		47億7,000万円
特別会計	国民健康保険	4億6,120万円
	後期高齢者医療	6,130万円
	介護保険事業	3億6,160万円
	介護サービス事業	2,730万円
	簡易水道	3億3,060万円
	下水道	2億20万円
合計		62億1,220万円



3月に開催された令和4年第2回置戸町議会定例会で、平野教育長が述べた教育委員会の所管事項に関する主要な方針についてお知らせします。

令和4年度 教育行政方針 (要旨)

学 校 教 育

3年目に入る「小中一貫教育」は、9年間を見通した「ふるさと教育」のカリキュラムが完成し、本年度から「置戸町ならではの文化、置戸学」の効果的な学びの実践に入ります。

また、小学校高学年を対象にした、中学校教諭による英語の乗り入れ授業の継続を図るとともに、英語以外の教科の出前授業や、小学校6年生が行う中学校体験入学を通して、より中学校を身近に感じることができるよう、実践の充実を図ります。

○国際化教育

外国語指導助手は、地域おこし協力隊員1名を加えた2名体制として、英語教育の強化を図り、国際化教育のさらなる充実に向け取り組みます。

○小中一貫教育

「学習サポート」は、小中学校合同で置戸高校教諭もサポートに入る、小中学校に高校が連携した取り組みを継続します。

生活面では、小6から中3を対象に「学級集団アセスメント」を実施し、生徒指導に関する情報を小中学校の教職員が共有して一体となった対応を進めます。

これらの取り組みについて、地域コーディネーター及び学校運営協議会で広く意見をいただき、修正・拡充を図ることにより、子どもたちの成長を地域全体で支えていきます。

○ICT教育

タブレット端末を各家庭に持ち帰ることを前提とした取り組みを進めるとともに、学習支援ソフトやデジタル教科書の積極的な活用を図ります。

不登校など教室で授業を受けることができない児童生徒に対し、リモート学習を実施し誰一人取り残さない学習機会の充実に努めます。

○特別支援教育

引き続き小学校4名、中学校1名の支援員を配置できるよう努めます。

○体力向上対策

新型コロナウイルス感染状況に応じた対策を講じながら、体育の授業や部活動を行います。

○学校における教職員の働き方改革

学校閉庁日の拡充・ICTを積極的に活用した業務の推進・部活動休養日の完全実施などのほか、特別支援教育支援員・学習支援員の配置を継続します。

道教委が行うスクールサポートスタッフを含む専門スタッフの派遣や配置を進めます。

本年度から全ての教職員に対し、ストレスチェックや必要に応じた面接指導を実施します。

小中学校の学校図書館の充実と教職員の負担軽減を図るため、学校巡回司書を地域おこし協力隊員枠で1名採用します。子どもたちの読書意欲を喚起し、探求心や好奇心を育むと同時に学校図書館の多様な可能性を引き出し、子どもたちの新しい居場所ともなるよう、整備を進めます。

○中学校の修学旅行

新型コロナウイルス感染症対応のため、本年度から函館市を中心とした3泊4日の道内に変更します。白老町の「ウポポイ」・厚真町の「被災地ガイドによる被災地見学」など、これまでどおり学習に重点を置き、旅行代金の町費助成を継続します。

○置戸高校への支援

本年度も福祉を志す生徒・保護者を全面的に支援します。

SNSなどを活用したPR活動のさらなる強化を図り、置戸高校存続に向け効果ある新たな取り組みを模索し、積極的に実行します。

社会教育

○公民館活動

各地域が独自性を活かした活動の展開を図るために地域活性化事業を推進します。

生活課題や地域課題に向き合った共同学習の推進を図り、まちづくりに向け、実践的に学習できる体制づくりを進めます。

○社会教育関係団体

文化団体、サークル活動の支援と新規加入、設立を促す公民館教室の実施など時代に適した活動を活発に行えるよう支援します。

○青少年教育・育成

「ふるさと少年クラブ」について、各教育機関などと連携をしながら活動を継続します。

○ふるさと教育チャーター事業

ふるさと置戸の魅力を再発見できることから、引き続き実施します。

○光通信整備と活用

光通信やWi-Fiを活用したリモート事業の展開や環境整備を進めます。社会教育事業などを動画及びライブ配信することにより、町の魅力を全国に発信し、人と人のつながりを強化します。

○放課後児童クラブ

児童館の開設に向けた協議とあわせ、障がいを持つ児童の対応などを含め、検討委員会を設置して、求められる機能をソフト及びハード面について先進施設の視察を行いながら検討を進めます。

○食のまちづくり推進事業

農業・商業・観光及びオケクラフト分野との連携を図り、役割分担を明確にしながら特産品の開発・商品化に向けた取り組みを支援します。

食に関する団体、サークルなどとの連携による各種教室や事業について展開するとともに、引き続き地産地消を含めた食育の普及に努めます。

○郷土資料・文化財関係

企画展の開催や郷土資料の保存、整理を進めます。「ふるさと教育」として、中学生対象の遺跡発掘体験学習を実施するとともに、札幌学院大学との地域交流協定に基づく事業の充実を図ります。

社会体育

ファミリースポーツセンターのトレーニング機器の整備を進め、今後も定期的に健康運動指導員を配置します。保健担当部局とも連携を強化し、

幅広い世代にあわせた健康・体力保持などが楽しくできるようサポートします。

小学校低学年対象の「おけとわんぱくクラブ」の開催、少年少女スポーツ教室の開催、スポーツ少年団活動への支援を行います。

図書館

「やまびこ号」の停留する巡回先を見直すとともに、本の宅配サービスも両立させ、さらなる全域サービスを目指します。

学校図書館の運営、図書・教材の整備などの支援を強化し、その充実に向けて学校巡回司書との緊密な連携を積極的に進めます。

絵本を介して親子が一緒に読書を楽しむ「ファーストブックプレゼント事業」を継続します。

学芸員と連携し、町の歴史を撮影した写真などの郷土資料デジタル化を進めます。

森林工芸館

令和5年度に迎えるオケクラフト40周年の事業内容を検討するとともに、さらなる発展に向けた取り組みを進めます。作り手養成塾は、全国に向けて広く随時募集の周知を図り、新たな作り手の確保・育成に努めます。「すくすくギフト事業」は引き続き実施します。

「一般社団法人おけと森林文化振興協会」は、設立後8年目を迎え、インターネットを活用した販売など新しい取り組みを進めてきています。流通販売経路の拡大、安定的かつ円滑な材料の供給提供に向けてさらなる連携を図ります。

どま工房は、郷土資料館と連携を図りながら、秋岡コレクションの基礎知識や手仕事文化、オケクラフトの歴史など学習の充実を図るとともに、町民への情報発信にも積極的に取り組みます。

給食センター

食材購入費の差額を町費で補填し、地元食材をふんだんに取り入れた「ふるさと給食の日」を年6回設け、子どもたちの郷土愛の醸成を図ります。

近年小麦や油などの食材全般が高騰していることから、次年度に向けて給食費の値上げについて検討します。

ごみの分別と収集にご協力を

こんなときに注意！

- ・スプレー缶や、カセットボンベは、中身を使い切り穴をあけずに透明か半透明の中身の確認できる袋に入れ、資源ごみの日に出してください。飲料用の缶とは別の袋で出しましょう。
- ・生ごみは、十分水気を切ってから指定の袋に入れ、「生ごみ」として出してください。燃やすごみの袋には、入れないようにしましょう。
- ・家具などの大きな粗大ごみは、事前に電話などで役場に申し込みを行い、町指定のごみ処理券シールを貼っていただくと、戸別に回収します。
- ・埋めるごみ、粗大ごみは、事前に役場へ来庁し「許可証」の交付を受けると、1市2町の一般廃棄物最終処分場へ自分で直接搬入できます。
- ・刃物などを捨てるときは、「埋めるごみ袋」に「危険」と表示して、ほかのごみと混ぜないでください。

■ごみの分別ルールについて詳しくは、置戸町ホームページのトップページの「くらしの情報 ごみ」または右記のQRコードからご覧いただけます。
同ページ内の「ごみ分別辞典 ごみ検索サイト (<http://www.gomisaku.jp/0144/>)」で
ごみの分別を確認しましょう。



■お問い合わせ 町民生活課住民生活係 (☎ 52-3315)

農家地区 ごみ収集カレンダー

2022年度 (2022年4月～2023年3月)

ごみの種類	収集日
資源ごみ	第1・3火曜日
埋める・有害・粗大ごみ	第2火曜日
埋める・有害ごみ	第4火曜日
燃やすごみ	水曜日

ごみ収集地域 (自治会単位)
秋田 (市街地除く)・境野・川南・豊住 (豊住会館) 常盤・北光第二 (北光会館)・拓実・中里 (20号線) 安住・勝山第一・常元

4月

火	水
5	6
12	13
19	20
26	27

5月

火	水
3	4
10	11
17	18
24	25

6月

火	水
	1
7	8
14	15
21	22
28	29

7月

火	水
5	6
12	13
19	20
26	27

8月

火	水
2	3
9	10
16	17
23	24
	31

9月

火	水
6	7
13	14
20	21
27	28

10月

火	水
4	5
11	12
18	19
25	26

11月

火	水
1	2
8	9
15	16
22	23
	30

12月

火	水
6	7
13	14
20	21
27	28

1月

火	水
10	11
17	18
24	25

2月

火	水
	1
7	8
14	15
21	22
28	

3月

火	水
	1
7	8
14	15
21	22
28	29

市街地区 ごみ収集カレンダー

2022年度（2022年4月～2023年3月）

ごみの種類	収集日
生ごみ	月・金曜日
埋める・有害・粗大ごみ	第2火曜日
埋める・有害ごみ	第4火曜日
資源ごみ	木曜日
燃やすごみ	土曜日

ごみ収集地域（自治会単位）
秋田（市街地）・境野中央・境野旭・境野親交・豊住（旧境野小学校）・北光・北光第二（北光会館除く）・若松・新光・協生・宮下・緑栄・栄第一・心和・中央・本町・西町・若木・林友・拓殖・拓殖第二・中里（20号線除く）・勝山新生・勝山公新

4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
	4			7	8	9
	11	12		14	15	16
	18			21	22	23
	25	26		28	29	30

5月

日	月	火	水	木	金	土
	2			5	6	7
	9	10		12	13	14
	16			19	20	21
	23	24		26	27	28
	30					

6月

日	月	火	水	木	金	土
				2	3	4
	6			9	10	11
	13	14		16	17	18
	20			23	24	25
	27	28		30		

7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
	4			7	8	9
	11	12		14	15	16
	18			21	22	23
	25	26		28	29	30

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1			4	5	6
	8	9		11	12	13
	15			18	19	20
	22	23		25	26	27
	29					

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
	5			8	9	10
	12	13		15	16	17
	19			22	23	24
	26	27		29	30	

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
	3			6	7	8
	10	11		13	14	15
	17			20	21	22
	24 ²⁴ ₃₁	25		27	28	29

11月

日	月	火	水	木	金	土
				3	4	5
	7	8		10	11	12
	14			17	18	19
	21	22		24	25	26
	28					

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
	5			8	9	10
	12	13		15	16	17
	19			22	23	24
	26	27		29		

1月

日	月	火	水	木	金	土
				5	6	7
	9	10		12	13	14
	16			19	20	21
	23	24		26	27	28
	30					

2月

日	月	火	水	木	金	土
				2	3	4
	6			9	10	11
	13	14		16	17	18
	20			23	24	25
	27	28				

3月

日	月	火	水	木	金	土
				2	3	4
	6			9	10	11
	13	14		16	17	18
	20			23	24	25
	27	28		30	31	

氷上で楽しむ置戸の冬



2/26 ふるさと少年クラブ氷上ワカサギ釣り



おけと子ども冬まつり実行委員会が作成した
手作りミニカーリング場「OKリング」

コロナワクチン追加接種



3回目のワクチン接種を
2月2日から24日まで計9日間実施

2/26 子どもおはなし大会



小学生6組11人が参加し、暗唱や読み聞かせを披露

ひとまち おけと

3/1 置戸高校卒業証書授与式



新たな目標へ向かって学び舎を旅立つ置高生

置戸の情報をインターネットでチェック！



人と、木と、おけと



ホームページ



YouTube



白花豆焼酎40度 限定販売



町の特産品「白花豆焼酎おけと」が、装いも新たに登場しました。これまで販売している白花豆焼酎の20度、25度ともに残り僅かとなったことから、新たにアルコール度数40度を製造。町産の白花豆を原料に使用し、645本（容量720ml）を4,600円（税込）で、町内限定販売しています。

今回は水色のすりガラス瓶を使い、ラベルには白花豆の柔らかなイラストが描かれた新しいパッケージです。ラベルデザインを担当したのは、どま工房主任研究員的那珂琴絵さん。

皆さんもこの機会に、自宅用や贈り物にいかがでしょうか。

■販売店 おけと勝山温泉ゆうゆ、グリーンマートほそかわ、松岡商店、そば処いなだ屋、エコープおけと店

■担当 産業振興課商工観光係（☎52-3313）

今晚つくれる！食改さんの かんたんレシピ



水菜としらすの
ぽん酢和え

1人分 35 kcal 食塩相当量 0.7g

【材料（4人分）】

水菜：半束、しらす：50g

かつお節（糸削り）：小袋1、ぽん酢：適量

【作り方】

①水菜は流水でさっと洗い、汚れを落とし、食べやすい長さに切る。

②水菜としらすとかつお節を軽く合わせ、食べる時にぽん酢をかける。

【ワンポイント】

食べる直前にぽん酢をかけることで、水菜のシャキシャキした食感が楽しめます。

5歳から11歳を対象とした 新型コロナワクチン小児接種が始まります

今回対象となる町内に住む5歳から11歳の方についてご案内を郵送しています。接種を希望される方は、同封のはがきにてお申し込みください。■お問い合わせ 置戸町新型コロナワクチンコールセンター（☎52-3188）

まちづくり月記

置戸町長 深川 正美

コロナまん延防止対策により行事等が中止される中、道産子の活躍が光った北京オリンピック・パラリンピック。中でも銀メダルに輝いたカーリング女子では、選手たちの笑顔に一層親しみを感じて応援した方も多かったと思います。カーリングに限らず、各国の代表が競い合い、その結果、笑顔のインタビューや涙する世界のアスリートの姿は、メダルの色に関係なく「本当に美しいな」と感動していました。

江戸の末期、咸臨丸で太平洋を渡った勝海舟の一行に木村摂津守喜穀という人物がいました。木村を見たアメリカ人は、こんなに美しい種類の人間がいたのかと驚嘆したと記録されています。それは、武士の姿や顔立ちなどルックスではなく、幼い頃より勉強熱心で十分な教育を受けて育った木村の人間性や立ち居振る舞いが評価されたものです。今回のオリンピックでも日本人選手の美しい人間性を誇りに思います。

各校の卒業式に出席しました。成長した子どもたちの姿はとても清々しく、誇らしいものです。見守るご家族の姿もまた美しいと私も思わず涙腺が緩んでしまします。子どもたちそれぞれが金メダル、ご家族の皆さんも金メダルだと思います。

思い出深い校舎から巣立つ卒業生の姿に、春の訪れと新たな希望に満ちた未来を感じる3月でした。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

地域おこし協力隊活動日誌 \ あこがれの地、北海道 /

地域おこし協力隊員 吉田 雅智

初めまして、地域おこし協力隊の吉田雅智です。去年の11月に神奈川県から夫婦で置戸にやって来ました。

置戸に住み始めて、早くも4カ月という時間が過ぎました。私たちにとっては、全てのことが初体験。マイナス20度の生活、まつ毛やひげが凍ること、除雪の大変さ。北海道に来たことを実感する日々です。雪の中での生活は大変なこともあります。周りを見渡せば、一面、白銀の世界。寒いからこそ、ならではの樹氷やケアラシ。とても神秘的な世界が目の前で見られるということを嬉しく思います。

私の地域おこし協力隊の活動は、ネイチャーガイドです。この仕事は、置戸の自然の素晴らしさをお客さんに知っていただき、「見る・知る・体験し感動してもらう」ということだと私は思っています。私自身が置戸に来て、たくさんの感動をもらい、この感動を少しでも多くの人に知ってもらえたらと思っています。

少し外に出て、散歩をすれば北キツネやエゾリスなどを見かけ、数多くの野鳥の声が聞こえ、運が良ければ珍しい野鳥に出会えることもあります。置戸の素晴らしい自然とアクティビティを盛り上げていけたらと考えています。私もいろいろな場所を歩いてみて、置戸の素晴らしさを伝えられるよう勉強していきますので、よろ

しくお願いします。

町民の皆さん、自分が知っている、ここはお勧めという場所を教えてくださいませんか？私もいろんな場所をウロウロしていると思いますので、お気軽にお声がけしてください。皆さんと交流できる日を楽しみにしています。



冬の鹿の子沢、虹の滝も神秘的でした！

喜びと悲しみ(敬称略)

■ご結婚おめでとうございます

○安藤 光希・大塚 汐莉 栄第一 2/11

■お悔やみ申し上げます

○千葉 正 78歳 若木 2/2

○向井 勝次 76歳 中里 2/11

人の動き

●世帯数 1,390世帯(+4世帯)

●人 □ 2,711人(+1人)

●男1,251人(±0人) 女1,460人(+1人)

令和4年2月28日現在()内は1月末比

編集後記

☆学び舎から巣立つ子どもたち。卒業式の取材は、成長した姿にしみじみとしながらシャッターを切ります。みんな卒業おめでとう！春からは新たな場所へ。☆次回予告、「広報おけと4月号」は月末にお届けします。「まちのおしらせ」もこれまでと変わらずにお届けしますので、よろしくお願いします。㊞

■今月号の表紙：3月1日、保護者や先生が見守る中、挙行された置戸高校卒業証書授与式。答辞を読む卒業生が、涙ながらに両親への感謝の言葉を伝えるくだりに、広報担当も思わずもらい泣き。表紙に掲載した言葉は、3年生の教室や廊下に掲示されていたものを引用しました。